

平成 29 年度関東農政局補助事業評価（再評価・事後評価）

第 2 回技術検討会 議事録

日時：平成 29 年 12 月 22 日（金）14:30～16:45

場所：さいたま新都心合同庁舎 2 号館 11 階

防災対策室 1、2

事務局

それでは、定刻となりましたので、ただ今から、関東農政局補助事業評価の第 2 回技術検討会を開催させていただきます。

本日はお忙しい中、皆様におかれましては、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私、冒頭の進行を務めます農村振興部設計課 安井です。

開会にあたりまして、補助事業評価委員会委員長の塩屋農村振興部長から一言御挨拶を申し上げます。

農村振興部長

挨拶

事務局

それでは、本日の出席者のご紹介をさせていただきたいと思います。名簿がお手元にあると思いますので、ご参照いただきながら進めさせていただきます。

それではまず、本技術検討会委員長の西村拓委員でございます。

西村委員長

西村でございます。よろしくお願いします。

事務局

小倉久子委員でございます。

小倉委員

小倉でございます。よろしくお願いします。

事務局

中村哲也委員でございます。

中村委員

中村でございます。よろしくお願いします。

事務局

上岡美保委員でございます。

上岡委員

上岡でございます。よろしくお願いします。

事務局

続きまして、関東農政局 補助事業評価委員の紹介をさせていただきます。

(以下、関東農政局の出席者の紹介は省略。)

事務局

今回の技術検討会は、再評価と事後評価の同時開催でございますので、前半は再評価、後半に事後評価の議事を行うこととします。

それでは、以降の議事進行につきましては、西村委員長をお願いいたします。

西村委員長

それでは、議事次第に従いまして、議事を進めます。

まず、「(1)再評価地区について」でございますが、資料1の「再評価対象地区一覧表」について事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料を基に「再評価対象地区一覧表」について説明。以下、説明は省略。)

西村委員長

それでは、農業競争力強化基盤整備事業「飯富岩根地区」の説明をお願いします。

水利整備課長

(資料を基に農業競争力強化基盤整備事業「飯富岩根地区」について説明。以下、説明は省略。)

西村委員長

それでは、ただいまの説明について質問・意見をお願いします。

西村委員長

維持管理費節減効果における維持管理費の増加については、管理する施設数の増加によるものでしょうか。

水利整備課長

そのとおりです。

西村委員長

陸稲と飼料用米、WCS（稲発酵粗飼料：ホールクロップサイレージ）用稲とは何が異なるのか。

水利整備課長

陸稲は食用となります。

西村委員長

陸稲は市場競争力のある品種ということか。

水利整備課長

そのとおりです。

西村委員長

それでは、農業競争力強化基盤整備事業「大貫地区」の説明をお願いします。

農地整備課長

（資料を基に農業競争力強化基盤整備事業「大貫地区」について説明。以下、説明は省略。）

西村委員長

それでは、ただいまのご説明について質問・意見をお願いします。

上岡委員

本年度の区画整理について、工事は完了しているのでしょうか。また、費用対効果に算定については、平成 32 年度の工事完了後における効果算定でしょうか。

農地整備課長

一般に、水田の区画整理工事は水稻の収穫後に行うため、現在まさに工事の実施中です。また、費用対効果算定については、現事業計画（総事業費 1,970 百万円）に対する費用対効果算定です。

中村委員

担い手への農地の集積状況について、各担い手の事業実施前後の耕作面積の変化が分かるデータはあるでしょうか。

農地整備課長

区画整理に伴う換地等により、担い手の耕作地を集積しており、担い手が所有する農地や

借り受ける農地は増加しています。ただし、実施前の各担い手の耕作面積は持ち合わせていません。

上岡委員

農家数自体は減少しているのでしょうか。

農地整備課長

地区内では高齢等で離農した者の農地が4経営体に集積が進められていますので、農家数は減少しています。

西村委員長

作物生産効果の算定における、更新効果の水稻について、事業による単収の増加が非常に高い印象を受けますが、現実的な数値なのでしょうか。

農地整備課長

数値を再度確認します。

西村委員長

それでは、農業競争力強化基盤整備事業「世良田地区」の説明をお願いします。

農地整備課長

(資料を基に農業競争力強化基盤整備事業「世良田地区」について説明。以下、説明は省略。)

西村委員長

それでは、ただいまの説明について質問・意見をお願いします。

小倉委員

第1回技術検討会の現地調査で、地区の状況がよく分かりました。水田裏作ではなくごぼうの作付けがなされているのは、水田の畑利用としても画期的ではないかと思います。特に本地区でのごぼうの作付けについて、評価書等でもアピールが必要であると思います。

上岡委員

現地調査では、地元土地改良区理事長様は、事業は長年の悲願であり、事業実施前はごぼうの収穫ができないほどの湛水被害に苦しめられていたが、作物の生育も良くなったと非常に喜んでおられました。

西村委員長

反転均平工法による区画整理におけるコスト縮減は非常に興味深いと思います。本地区では既に営農が開始されていますが、これまで、本工法による収穫ムラの発生などの意見は

上がっていますでしょうか。

農地整備課長

特に収穫ムラがあるなどの問題は聞いておりません。本工法による営農状況については、今後もフォローしていきたいと考えています。

西村委員長

文化財発見効果とは具体的にどのような効果でしょうか。

農地整備課係長

一般には、文化財の発掘や調査は、文化庁の所管事業として自治体の教育委員会により行われますが、本事業の区画整理に伴い、緊急避難的に文化財の発掘が行われることにより、文化財の価値が明確になる効果について、文化財の調査や発掘に要する経費の内、土地改良事業での支出額を基に効果を算定しております。

中村委員

湛水による土壌消毒は、土壌消毒剤や太陽熱による土壌消毒を完全に代替するのでしょうか。また、土壌消毒剤に係る経費の縮減など、費用対効果算定には反映されているのでしょうか。

農地整備課係長

湛水による土壌消毒は、環境配慮の事例として記載しており、定性的な効果のため費用対効果算定には反映していません。

西村委員長

湛水による土壌消毒の方が作業は楽になるのではないのでしょうか。その場合、営農経費としては節減側に働くのではないのでしょうか。

農地整備課長

営農経費としては節減になると思われますが、湛水による土壌消毒と土壌消毒剤等による営農経費の差については試算等がなく、環境配慮の事例として紹介させて頂いているところです。

西村委員長

それでは、農村地域防災減災事業「筒川3期地区」の説明をお願いします。

防災課長

(資料を基に農村地域防災減災事業「筒川3期地区」について説明。以下、説明は省略。)

西村委員長

それでは、ただいまの説明について質問・意見をお願いします。

西村委員長

上流側の取水堰の整備は3期事業になるのでしょうか。取水堰からの用水路については2期事業となるのでしょうか。

防災課長

取水堰の整備は関連する2期事業の内容となります。用水路は1期事業の内容となります。

西村委員長

事業概要図は公表資料でもありますので、取水堰等がもっと見やすいとよいと思います。

防災課長

図面を見やすく修正します。

西村委員長

湛水被害の算定の内、農業関係資産の被害額が8割ということは、湛水被害を受ける農地が、非農地と比較して大きいということでしょうか。

防災課長

そのとおりです。

西村委員長

続きまして、「(2)事後評価地区について」でございますが、資料2の「事後評価対象地区一覧表」について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料を基に「事後評価対象地区一覧表」について説明。以下、説明は省略。)

西村委員長

それでは、かんがい排水事業「大正用水地区」について説明をお願いします。

水利整備課長

(資料を基にかんがい排水事業「大正用水地区」について説明。以下、説明は省略。)

西村委員長

それでは、ただいまの説明について質問・意見をお願いします。

中村委員

施設の長寿命化について説明がありましたが、施設の年間の維持管理費はどれくらいかかっているのでしょうか。

水利整備課長

事業効果の発現状況の維持管理費の節減の項目に年間の維持管理費を記載しております。

上岡委員

営農経費節減効果がマイナスとなっていますが、地区内に導入された移動式スプリンクラー等の使用による機械経費の増加を、効果算定において反映されているのでしょうか。

水利整備課長

評価時点の実績として反映しております。

小倉委員

評価書（案）の人口について、集計の対象はどこでしょうか。

水利整備課長

関係市町村の統計情報より集計しています。

西村委員長

ありがとうございました。次に、畑地帯総合整備事業「借宿生子地区」の説明をお願いします。

水利整備課長

（資料を基に畑地帯総合整備事業「借宿生子地区」について説明。以下、説明は省略。）

西村委員長

それでは、ただいまの説明について質問・意見をお願いします。

中村委員

ねぎの収穫については、ねぎ収穫機や大型機械の導入などでかなり労働時間が減少した印象を受けるが実態としてはどうでしょうか。

水利整備課長

評価書（案）の3の（2）営農経費の節減において労働時間を整理しており、労働時間は節減されていますが内容を確認します。

西村委員長

担い手数は倍増していますが、一方農地の集積はそれほど進んでいないため、労働時間が大幅と言えるほど節減されないのはその通りだろうと考えます。一方で、機械経費は大幅に減少しています。区画整理により大型機械や乗用機械の導入が大きいと思います。ねぎについては収穫機械の導入に伴う経費節減は大きいと思われますが、はくさい、キャベツはどのような状況でしょうか。

水利整備課長

はくさい、キャベツについて、要因を確認します。

西村委員長

ありがとうございました。次に、畑地帯総合整備事業「明野地区」の説明をお願いします。

水利整備課長

(資料を基に畑地帯総合整備事業「明野地区」について説明。以下、説明は省略。)

西村委員長

それでは、ただいまの説明について質問・意見ををお願いします。

小倉委員

本地区は高品質トマト等の新規就農者が県外や地区外及び農業外分野の企業の参入があったことが本地区の特徴であり、そこをもっと強調しても良いのではないのでしょうか。

水利整備課長

追記します。

西村委員長

農業生産性の向上における生産の安定化について、干ばつにより収穫がない、といったリスクが、用水確保により解消されていることを強調してはどうでしょうか。例えば、過去〇年周期で大きな干ばつが発生していたなど。これらは農家の経営にとって非常に重要だと思われます。

水利整備課長

記載について検討します。

西村委員長

ありがとうございました。次に、経営体育成基盤整備事業「万力地区」の説明をお願いします。



農地整備課長

（資料を基に経営体育成基盤整備事業「万力地区」について説明。以下、説明は省略。）

西村委員長

それでは、ただいまの説明について質問・意見をお願いします。

西村委員長

WCS 用稲や飼料用米の導入について、元々本地域では畜産が盛んなのでしょうか。地域農業の動向に、畜産の動向も記載すれば、説明がスムーズなのではないかと思います。

小倉委員

本地域は元々畜産が盛んな地域だと思います。耕畜連携や環境保全型農業にも取り組んでおり、ぜひ記載を検討してほしいと思います。

西村委員長

地域内で連携等の取り組みがあることが非常に重要であり、大変良いことだと思います。

農地整備課長

記載を検討します。

西村委員長

評価書（案）において、作物生産額の整理において、夏秋きゅうりや夏秋トマトの生産額が計画を下回っているのは、作付面積の減少による影響が大きいのでしょうか。また、飼料用米の作付面積が増加していますが、野菜から飼料用米の作付けへと変化していったのでしょうか。

農地整備課長

作付面積の減少によるところが大きいと考えられます。本地区は元々水稻を主体とした地域であり、市町の施策の方向性に沿って作りやすい飼料用米の作付面積が増加したものと考えられます。

小倉委員

今後の課題について、高齢化による離農が予想されると記載がありますが、他地区にはそのような表現はありません。本地区は他地区に比較してそのような傾向があるのでしょうか。

農地整備課長

65 才以上の農業者数の比率が高いものと思いますが、数値と記載については再度確認い

たします。

西村委員長

それでは、本日出されましたご意見等につきましては、資料への反映等よろしくお願いします。

また、他に追加のご意見等がございましたら、1月9日を目途に事務局にご連絡していただきたいと思います。

本日の質疑の中で回答が保留になっているものについては、追加の質問・意見と併せて、次回2月5日の第3回技術検討会において回答の程、よろしくお願いいたします。

それでは、次に「(3)その他」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

その他といたしまして、スケジュールの確認をさせていただきます。本日も指摘いただいた内容につきましては、2月5日開催予定の第3回技術検討会において回答させていただきます。

その際に技術検討会の意見の取りまとめにつきましてもよろしくお願いいたします。

また、本日の議事概要と議事録につきましては、後日、委員の皆様方にご確認頂き、ホームページにて公表させていただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

西村委員長

ただいまご説明のあったとおり、次回の技術検討会では、再評価、事後評価の各地区の評価結果(案)に対し、技術検討会委員の「第三者の意見」を提出することになるため、その意見内容についても議論させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、本日予定しておりました議事を全て終了いたしましたので、議事進行を事務局にお返ししたいと思います。

事務局

長時間のご議論、ありがとうございました。

以上をもちまして、関東農政局補助事業評価(再評価・事後評価)第2回技術検討会を閉会いたします。

ありがとうございました。